

リスク管理(単体)

〈信用リスク〉

信用リスク関連データ

■信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高〈地域別〉・〈業種別〉うち、三月以上延滞又はデフォルト債権・〈残存期間別〉 (単位:百万円)

	2014年9月末						うち、三月以上延滞又はデフォルト
	計	貸出金・外国為替等	有価証券	オフ・バランス取引	派生商品取引	その他	
地域別							
国内	32,343,532	22,540,897	3,988,781	4,057,049	1,030,913	725,890	405,070
海外	—	—	—	—	—	—	—
標準的手法を適用するエクスポージャー	106,775	268	—	—	—	106,507	11
計	32,450,307	22,541,165	3,988,781	4,057,049	1,030,913	832,397	405,081
業種別							
製造業	2,565,800	1,995,097	251,053	290,272	26,315	3,061	59,785
農業、林業	24,775	24,701	—	71	2	0	1,691
漁業	1,302	1,249	50	0	2	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	11,468	9,656	1,213	560	38	—	5
建設業	423,361	316,513	33,479	72,188	926	253	13,449
電気・ガス・熱供給・水道業	167,252	128,978	19,507	17,697	1,069	—	7
情報通信業	231,860	192,383	20,566	18,092	424	393	15,065
運輸業、郵便業	429,556	385,519	22,101	18,140	3,710	85	29,595
卸売業、小売業	2,016,292	1,755,230	113,878	110,375	27,143	9,665	104,644
金融業、保険業	2,675,788	1,080,611	121,122	264,956	950,743	258,353	1,410
不動産業	3,219,105	3,123,388	28,682	54,227	11,942	863	71,070
物品賃貸業	294,275	270,527	5,359	17,234	1,087	65	1,570
各種サービス業	1,184,237	1,017,422	47,639	89,367	7,160	22,648	41,954
個人	6,384,044	6,321,823	—	61,871	—	349	64,568
我が国の政府・地方公共団体・政府関係機関・地方三公社等	11,762,733	5,539,898	3,180,493	3,041,994	346	—	242
外国の中央政府・中央銀行等	139,190	695	138,494	—	—	—	7
その他	812,486	377,199	5,138	—	—	430,149	1
標準的手法を適用するエクスポージャー	106,775	268	—	—	—	106,507	11
計	32,450,307	22,541,165	3,988,781	4,057,049	1,030,913	832,397	405,081
残存期間別							
1年以下	3,394,227	1,647,722	835,895	741,964	131,057	37,587	／
1年超3年以下	2,465,069	1,633,395	375,564	129,114	305,850	21,145	／
3年超5年以下	3,231,286	1,772,789	1,178,052	38,688	197,209	44,547	／
5年超7年以下	2,093,363	1,230,009	434,004	19,138	337,940	72,270	／
7年超	10,651,255	9,545,742	842,536	86,324	58,855	117,796	／
期間の定めのないもの等	10,508,329	6,711,239	322,728	3,041,817	—	432,543	／
標準的手法を適用するエクスポージャー	106,775	268	—	—	—	106,507	／
計	32,450,307	22,541,165	3,988,781	4,057,049	1,030,913	832,397	／

- (注) 1. 先進的内部格付手法が適用されるエクスポージャーを記載しております(信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除いております)。但し、個々の債権額、その合計額、信用リスク・アセットの総額が極めて小さい資産区分等は内部格付手法の適用除外資産として標準的手法を適用してリスク・アセットを算出しております。
2. 先進的内部格付手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除前、部分直接償却実施前の残高を記載しております。また、標準的手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除後、部分直接償却実施後、信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高を記載しております。
3. 「貸出金・外国為替等」は現金預け金、コールローン、買入金銭債権、特定取引資産、貸出金、外国為替等の取引を含めて表示しております。
4. 「オフ・バランス取引」は支払承諾見返、コミットメント、信託勘定貸出金等を与信相当額へ引き直した値(CCF勘案後)にて表示しております。(CCF=Credit Conversion Factor)
5. 中央清算機関関連エクスポージャーはエクスポージャーの種類「その他」に含めて表示しております。

(単位：百万円)

	2015年9月末						
	計	貸出金・ 外国為替等	有価証券	オフ・バランス 取引	派生商品 取引	その他	うち、三月以 上延滞又は デフォルト
地域別							
国内	33,041,905	25,025,969	3,313,104	3,254,437	721,669	726,723	385,890
海外	—	—	—	—	—	—	—
標準的手法を適用するエクスポージャー	111,969	2,719	—	—	—	109,250	16
計	33,153,874	25,028,689	3,313,104	3,254,437	721,669	835,973	385,907
業種別							
製造業	2,623,462	2,072,327	253,317	277,107	17,526	3,184	86,011
農業、林業	21,546	21,275	200	66	3	—	100
漁業	1,341	1,301	30	0	9	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	10,716	8,757	1,532	403	23	—	5
建設業	412,109	299,658	34,308	76,913	1,205	23	7,205
電気・ガス・熱供給・水道業	209,152	169,802	19,507	16,314	3,528	—	—
情報通信業	239,023	198,076	20,681	19,402	862	0	9,995
運輸業、郵便業	472,660	412,726	27,250	29,486	3,111	85	60,383
卸売業、小売業	2,060,200	1,787,983	120,855	126,822	18,392	6,146	97,987
金融業、保険業	2,427,691	1,096,564	71,270	282,427	653,822	323,606	767
不動産業	3,562,888	3,445,959	39,687	62,880	13,549	811	29,821
物品賃貸業	301,033	279,717	4,810	15,125	1,313	65	1,727
各種サービス業	1,193,525	1,034,607	49,076	101,518	7,988	335	35,189
個人	6,600,395	6,542,178	—	57,939	—	278	56,450
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	11,901,847	7,265,025	2,483,803	2,133,735	332	18,950	228
外国の中央政府・中央銀行等	186,587	3,521	183,065	—	—	—	15
その他	817,720	386,487	3,706	54,292	—	373,234	2
標準的手法を適用するエクスポージャー	111,969	2,719	—	—	—	109,250	16
計	33,153,874	25,028,689	3,313,104	3,254,437	721,669	835,973	385,907
残存期間別							
1年以下	3,249,023	1,447,047	829,121	816,544	120,680	35,629	/
1年超3年以下	2,394,265	1,643,031	341,696	146,156	216,468	46,913	/
3年超5年以下	3,274,946	2,183,662	863,461	32,290	154,880	40,651	/
5年超7年以下	1,629,358	1,039,533	275,822	16,453	196,192	101,356	/
7年超	11,093,570	10,138,940	683,340	109,324	33,446	128,518	/
期間の定めのないもの等	11,400,739	8,573,754	319,663	2,133,668	—	373,652	/
標準的手法を適用するエクスポージャー	111,969	2,719	—	—	—	109,250	/
計	33,153,874	25,028,689	3,313,104	3,254,437	721,669	835,973	/

- (注) 1. 先進的内部格付手法が適用されるエクスポージャーを記載しております（信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除いております）。但し、個々の債権額、その合計額、信用リスク・アセットの総額が極めて小さい資産区分等は内部格付手法の適用除外資産として標準的手法を適用してリスク・アセットを算出しております。
2. 先進的内部格付手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除前、部分直接償却実施前の残高を記載しております。また、標準的手法を適用するエクスポージャーは引当金等控除後、部分直接償却実施後、信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高を記載しております。
3. 「貸出金・外国為替等」は現金預け金、コールローン、買入金銭債権、特定取引資産、貸出金、外国為替等の取引を含めて表示しております。
4. 「オフ・バランス取引」は支払承諾見返、コミットメント、信託勘定貸出金等を与信相当額へ引き直した値（CCF勘案後）にて表示しております。（CCF=Credit Conversion Factor）
5. 中央清算機関関連エクスポージャーはエクスポージャーの種類「その他」に含めて表示しております。

■一般貸倒引当金及び特定海外債権引当勘定

(単位:百万円)

	2014年9月中間期			2015年9月中間期		
	期首残高	期中増減	期末残高	期首残高	期中増減	期末残高
一般貸倒引当金	72,348	△13,114	59,233	55,532	3,153	58,685
特定海外債権引当勘定	1	△0	1	0	1	1

(注) 一般貸倒引当金は、地域別、業種別の区分は行っておりません。

■個別貸倒引当金〈地域別〉・〈業種別〉

(単位:百万円)

	2014年9月中間期			2015年9月中間期		
	期首残高	期中増減	期末残高	期首残高	期中増減	期末残高
地域別						
国内	54,120	△5,882	48,237	43,437	17,575	61,012
海外	—	—	—	—	—	—
計	54,120	△5,882	48,237	43,437	17,575	61,012
業種別						
製造業	11,920	△2,029	9,890	9,864	△1,278	8,586
農業、林業	216	2	218	25	△1	23
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	3	△0	3	3	△0	3
建設業	1,458	41	1,499	1,343	△758	585
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	2,002	587	2,590	2,661	97	2,759
運輸業、郵便業	2,761	1,184	3,946	3,494	20,683	24,177
卸売業、小売業	19,241	△596	18,645	15,031	△193	14,838
金融業、保険業	2,866	△2,538	328	314	△30	284
不動産業	4,534	△1,323	3,210	2,689	△50	2,639
物品賃貸業	20	△3	17	77	△2	74
各種サービス業	4,532	△613	3,919	3,943	△281	3,661
個人	2,914	△380	2,533	2,047	△348	1,699
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	—	—	—	—	—	—
外国の中央政府・中央銀行等	—	—	—	—	—	—
その他	1,646	△212	1,434	1,940	△261	1,678
計	54,120	△5,882	48,237	43,437	17,575	61,012

■貸出金償却額〈業種別〉

(単位:百万円)

	2014年9月中間期	2015年9月中間期
製造業	306	356
農業、林業	—	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	33	70
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情報通信業	136	18
運輸業、郵便業	—	—
卸売業、小売業	394	4,105
金融業、保険業	—	△0
不動産業	187	92
物品賃貸業	—	8
各種サービス業	773	513
個人	159	135
我が国の政府・地方公共団体・ 政府関係機関・地方三公社等	—	—
外国の中央政府・中央銀行等	—	—
その他	—	—
計	1,991	5,301

【標準的手法が適用されるエクスポージャー】

■リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャー

(単位：百万円)

	2014年9月末		2015年9月末	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0%	863	8,711	874	8,427
10%	—	15,866	—	24,103
20%	13,857	6	16,491	102
35%	—	—	—	—
50%	1	—	0	—
75%	—	—	—	—
100%	0	67,446	0	61,942
150%	3	8	4	11
250%	—	11	—	11
350%	—	—	—	—
1250%	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
計	14,725	92,049	17,371	94,598

(注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限定しております。

2. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーは、信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高で記載しております。

3. 上記1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーは、自己資本比率告示第79条の5第2項第2号、第177条の2第2項第2号及び第247条第1項(自己資本比率告示第125条、第127条及び第136条第1項において準用する場合に限る。)の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用されるエクスポージャーの額であります。

【内部格付手法が適用されるエクスポージャー】

■スロットティング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権のリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(1) プロジェクト・ファイナンス、オブジェクト・ファイナンス、事業用不動産向け貸付

(単位：百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2014年9月末	2015年9月末
優	2年半未満	50%	4,900	7,851
	2年半以上	70%	24,375	21,568
良	2年半未満	70%	25,918	26,640
	2年半以上	90%	59,391	42,410
可	期間の別なし	115%	56,565	90,296
弱い	期間の別なし	250%	—	7,012
デフォルト	期間の別なし	0%	4,383	2,610
計			175,534	198,390

(2) ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付

(単位：百万円)

スロットティング・クライテリア	残存期間	リスク・ウェイト	2014年9月末	2015年9月末
優	2年半未満	70%	2,000	—
	2年半以上	95%	—	—
良	2年半未満	95%	—	—
	2年半以上	120%	—	—
可	期間の別なし	140%	7,950	10,123
弱い	期間の別なし	250%	—	—
デフォルト	期間の別なし	0%	—	—
計			9,950	10,123

■マーケット・ベース方式の簡易手法が適用される株式等エクスポージャーのリスク・ウェイトの区分ごとの残高

(単位：百万円)

リスク・ウェイト	2014年9月末	2015年9月末
300%	26	54,285
400%	5,155	3,720
計	5,182	58,005

■事業法人向けエクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2014年9月末							
	PD推計値 (注1)	LGD推計値 (注1)	ELdefault推計値 (注1)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.15%	31.37%	/	24.18%	2,481,649	490,136	321,877	75.00%
B～E	1.19%	26.56%	/	49.22%	5,946,103	469,426	323,762	75.00%
F・G	11.19%	23.17%	/	93.34%	666,318	42,310	13,105	75.00%
デフォルト	100.00%	31.59%	46.50%	13.93%	314,796	6,429	450	75.00%
計	/	/	/	/	9,408,867	1,008,303	659,195	75.00%

(注) 1. EADによる加重平均値

2. スロッシング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権は含まれておりません。

(単位：百万円)

格付区分	2015年9月末							
	PD推計値 (注1)	LGD推計値 (注1)	ELdefault推計値 (注1)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.15%	31.23%	/	24.64%	2,850,619	399,218	312,711	75.00%
B～E	1.21%	25.80%	/	49.21%	6,122,865	497,052	385,456	75.00%
F・G	9.46%	23.56%	/	89.93%	594,561	43,370	19,607	75.00%
デフォルト	100.00%	30.85%	42.51%	21.01%	306,721	2,854	350	75.00%
計	/	/	/	/	9,874,768	942,497	718,126	75.00%

(注) 1. EADによる加重平均値

2. スロッシング・クライテリアに割り当てられた特定貸付債権は含まれておりません。

■ソブリン向けエクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2014年9月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.00%	35.40%	/	0.30%	8,859,615	3,041,994	—	—
B～E	1.88%	35.40%	/	89.62%	688	332	—	—
F・G	16.27%	10.08%	/	56.71%	3,777	14	—	—
デフォルト	100.00%	9.38%	8.56%	15.59%	249	—	—	—
計	/	/	/	/	8,864,331	3,042,341	—	—

(注) EADによる加重平均値

(単位：百万円)

格付区分	2015年9月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
S A・A	0.00%	34.72%	/	0.30%	9,955,607	2,133,735	—	—
B～E	1.72%	34.72%	/	81.77%	692	260	—	—
F・G	15.30%	10.61%	/	58.53%	3,629	71	—	—
デフォルト	100.00%	10.31%	8.94%	17.17%	243	—	—	—
計	/	/	/	/	9,960,173	2,134,068	—	—

(注) EADによる加重平均値

■金融機関等向けエクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2014年9月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.13%	34.88%	/	39.12%	684,758	277,276	—	—
B～E	0.63%	33.77%	/	49.35%	44,932	25,895	28,003	75.00%
F・G	10.98%	33.87%	/	137.39%	2,115	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
計	/	/	/	/	731,806	303,172	28,003	75.00%

(注) EADによる加重平均値

(単位：百万円)

格付区分	2015年9月末							
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	ELdefault推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に乗ずる 掛目の加重平均値
SA・A	0.14%	30.31%	/	37.22%	613,426	221,668	—	—
B～E	0.59%	35.69%	/	65.23%	69,031	71,098	27,898	75.00%
F・G	9.12%	7.19%	/	27.00%	5	—	—	—
デフォルト	—	—	—	—	—	—	—	—
計	/	/	/	/	682,463	292,767	27,898	75.00%

(注) EADによる加重平均値

■PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー

(単位：百万円)

格付区分	2014年9月末		
	PD推計値(注)	RWの加重平均値	残高
SA・A	0.11%	117.47%	233,082
B～E	0.67%	222.07%	77,200
F・G	10.98%	582.93%	6,266
デフォルト	100.00%	1125.00%	74
計	/	/	316,623

(注) 残高による加重平均値

(単位：百万円)

格付区分	2015年9月末		
	PD推計値(注)	RWの加重平均値	残高
SA・A	0.12%	123.31%	236,292
B～E	0.75%	231.63%	70,100
F・G	9.12%	536.71%	5,914
デフォルト	100.00%	1125.00%	1,278
計	/	/	313,587

(注) 残高による加重平均値

■リテール向けエクスポージャー

(単位：百万円)

	2014年9月末						
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に 乗ずる掛目の 加重平均値
居住用不動産向け エクスポージャー	/	/	/	5,128,699	19,494	—	—
非デフォルト	1.11%	31.79%	28.37%	5,091,445	19,069	—	—
デフォルト	100.00%	32.61%	/	37,253	424	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	/	/	/	58,344	23,782	279,105	8.52%
非デフォルト	3.58%	59.79%	49.17%	58,109	23,763	279,002	8.52%
デフォルト	100.00%	59.79%	/	235	19	102	18.89%
その他リテール向け エクスポージャー	/	/	/	1,405,972	25,084	37,246	30.16%
非デフォルト	1.38%	30.62%	26.36%	1,365,333	24,510	37,201	30.14%
デフォルト	100.00%	38.11%	/	40,639	573	44	42.87%

(注) EADによる加重平均値

(単位：百万円)

	2015年9月末						
	PD推計値 (注)	LGD推計値 (注)	RWの 加重平均値	オン・バランス EAD	オフ・バランス EAD	コミットメント の未引出額	未引出額に 乗ずる掛目の 加重平均値
居住用不動産向け エクスポージャー	/	/	/	5,279,540	16,928	—	—
非デフォルト	0.99%	26.65%	20.82%	5,246,034	16,373	—	—
デフォルト	100.00%	28.23%	/	33,505	555	—	—
適格リボルビング型リテール向け エクスポージャー	/	/	/	57,547	22,462	285,261	7.87%
非デフォルト	3.51%	58.34%	47.54%	57,351	22,447	285,182	7.87%
デフォルト	100.00%	58.34%	/	195	15	79	20.04%
その他リテール向け エクスポージャー	/	/	/	1,520,687	25,318	40,282	32.75%
非デフォルト	1.31%	33.56%	29.42%	1,483,456	24,629	40,212	32.71%
デフォルト	100.00%	38.39%	/	37,230	689	69	51.54%

(注) EADによる加重平均値

■直前期における損失の実績値及び当該実績値と過去の実績値との対比(注1)(注2)

(単位:百万円)

	2014年9月中間期	2015年9月中間期
	りそな銀行(単体)	△21,123(注4)
うち 事業法人向けエクスポージャー	△9,861	20,283
ソブリン向けエクスポージャー	△0	△2
金融機関等向けエクスポージャー	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	△37	△23
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー(注3)	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	971	391

- (注) 1. 損失額の実績値は、当該期間の与信関連費用(不良債権処理額、一般貸倒引当金純繰入額、信託勘定不良債権処理額、償却債権取立益)を指しております。なお、不良債権処理額には、貸出金償却、個別貸倒引当金純繰入額、特定海外債権引当勘定純繰入額、バルクセール・個別売却損益、その他の引当金純繰入額を含んでおります。また、エクスポージャー区分ごとの損失額の実績値については、正常先・要注意先の一般貸倒引当金純繰入額、及び責任共有制度に伴う引当金純繰入額を含めておりません。引当金の戻入等により利益が発生している場合には△を付しております。
2. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、損失額を与信関連費用として計上していない(信用リスクに伴うものかの判定が困難である)ことから、損失額の実績値には含めておりません。
3. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーに限定されるため、上記のエクスポージャー区分ごとの計数においては、損失額の実績値の表示を割愛しております。
4. 適用除外資産に係る与信関連費用を含んでおります。

要因分析

2015年9月期の与信関連費用は、前年同期比442億円増加し、230億円となっております。

個別貸倒引当金純繰入額が、前年同期比249億円増加し、207億円となったことが主因であります。

エクスポージャー区分ごとの状況につきましては、事業法人向けエクスポージャーに対する与信関連費用が増加しております。

■長期にわたる損失額の推計値と実績値との対比(注1)(注2)

(単位:百万円)

	2014年9月末(注4)		2015年9月中間期
	損失額の推計値	引当控除後(注5)	損失額の実績値(注6)
りそな銀行(単体)	217,009	△30,538	23,081(注7)
うち 事業法人向けエクスポージャー	190,825	△32,023	20,283
ソブリン向けエクスポージャー	120	114	△2
金融機関等向けエクスポージャー	640	640	—
居住用不動産向けエクスポージャー	3,473	1,297	△23
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー(注3)	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	19,809	△2,703	391

- (注) 1. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、損失額を与信関連費用として計上していない(信用リスクに伴うものかの判定が困難である)ことから、損失額の推計値及び実績値には含めておりません。
2. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーについては、損失額の推計値には含めておりません。
3. りそなホールディングス連結子会社の保証が付されているエクスポージャーに限定されるため、上記のエクスポージャー区分ごとの計数においては、損失額の推計値及び実績値の表示を割愛しております。
4. 損失額の推計値は、2014年9月末の期待損失額(EL)を用いております。
5. 損失額の推計値の引当控除後については、損失額の推計値から要管理先以下に対する引当額(個別貸倒引当金、一般貸倒引当金、部分直接償却額)を控除した金額を表示しております。
6. 損失額の実績値は、当該期間の与信関連費用(不良債権処理額、一般貸倒引当金純繰入額、信託勘定不良債権処理額、償却債権取立益)を指しております。なお、不良債権処理額には、貸出金償却、個別貸倒引当金純繰入額、特定海外債権引当勘定純繰入額、バルクセール・個別売却損益、その他の引当金純繰入額を含んでおります。また、エクスポージャー区分ごとの損失額の実績値については、正常先・要注意先の一般貸倒引当金純繰入額、及び責任共有制度に伴う引当金純繰入額を含めておりません。引当金の戻入等により利益が発生している場合には△を付しております。
7. 損失額の実績値は、適用除外資産に係る与信関連費用を含んでおります。

〈信用リスク削減手法〉

■信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位：百万円)

	2014年9月末		
	保証	クレジット・デリバティブ	計
内部格付手法適用エクスポージャー	1,348,882	—	1,348,882
事業法人向けエクスポージャー	391,159	—	391,159
ソブリン向けエクスポージャー	50,883	—	50,883
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	557,472	—	557,472
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	349,366	—	349,366
標準的手法適用エクスポージャー	—	—	—
計	1,348,882	—	1,348,882

(注) 1. ファンド(みなし計算)の構成資産に係る信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額は計上しておりません。

2. 適格担保による信用リスク削減手法が適用された標準的手法を適用したエクスポージャーは該当ありません。

(単位：百万円)

	2015年9月末		
	保証	クレジット・デリバティブ	計
内部格付手法適用エクスポージャー	1,245,280	—	1,245,280
事業法人向けエクスポージャー	364,347	—	364,347
ソブリン向けエクスポージャー	45,687	—	45,687
金融機関等向けエクスポージャー	—	—	—
居住用不動産向けエクスポージャー	511,126	—	511,126
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	—	—	—
その他リテール向けエクスポージャー	324,119	—	324,119
標準的手法適用エクスポージャー	—	—	—
計	1,245,280	—	1,245,280

(注) 1. ファンド(みなし計算)の構成資産に係る信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額は計上しておりません。

2. 適格担保による信用リスク削減手法が適用された標準的手法を適用したエクスポージャーは該当ありません。

〈派生商品取引〉

■派生商品取引及び長期決済期間取引の実績

(単位：百万円)

	2014年9月末					2015年9月末				
	想定元本	時価	グロスの再構築コスト	グロスのアドオン	与信相当額	想定元本	時価	グロスの再構築コスト	グロスのアドオン	与信相当額
長期決済期間取引	44,323	△329	20	2,659	2,679	8	1	1	0	1
金利関連取引										
金利スワップ	38,620,680	32,044	432,361	253,221	685,583	26,393,374	26,916	302,175	150,226	452,401
金利オプション	938,289	7,503	7,503	1,567	9,070	308,765	2,238	2,238	454	2,693
小計	39,558,970	39,547	439,865	254,789	694,654	26,702,140	29,155	304,414	150,680	455,094
通貨関連取引										
通貨スワップ	1,426,751	△8,532	58,886	68,268	127,155	1,012,380	1,244	82,852	41,746	124,599
通貨オプション	1,075,066	37,044	37,044	27,580	64,624	519,964	27,445	27,445	11,490	38,935
先物為替予約	1,378,436	69,441	116,865	27,612	144,478	1,190,167	46,250	84,078	18,961	103,040
小計	3,880,255	97,953	212,796	123,462	336,258	2,722,511	74,939	194,376	72,198	266,574
小計	43,439,225	137,500	652,662	378,251	1,030,913	29,424,652	104,094	498,790	222,878	721,669
一括清算ネットting契約による与信相当額削減効果					580,647					388,561
担保による与信相当額削減効果(注3)					77,308					88,138
計(ネットting・担保勘案後)					372,957					244,970

- (注) 1. 与信相当額の算出に当たっては、自己資本比率告示の規定に従い、下記の取扱いとしております。
 (1) 原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引については、与信相当額の算出から除いております。
 (2) 与信相当額は、個々の派生商品取引を時価評価して算出した「グロスの再構築コスト(零を下回らないものに限る)」に、残存期間に応じた相場変動リスク「グロスのアドオン」を加算するカレント・エクスポージャー方式を採用して算出しております。
 2. クレジット・デリバティブについては2015年9月末現在、取扱いがありません。
 3. 担保付デリバティブ取引に係る与信相当額削減効果の内訳は以下のとおりであります。なお、担保の種類は全て現金担保であります。
- | | |
|-------|-----------|
| 差入 | 10,082百万円 |
| 受取 | 98,220百万円 |
| 受取－差入 | 88,138百万円 |

〈証券化エクスポージャー〉

■銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー

1. 保有する証券化エクスポージャーに関する情報

(1) 証券化エクスポージャー（再証券化エクスポージャーを除く）

(単位：百万円)

	2014年9月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	7,947	—	—	—	—	—	—	—	—	7,947	682
RW20%以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20%超 100%以下	—	4,733	—	—	—	—	—	—	—	—	4,733	320
100%超 1250%未満	—	3,213	—	—	—	—	—	—	—	—	3,213	362
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	2,709	—	—	—	—	—	—	—	2,709	2,709

- (注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額
2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(単位：百万円)

	2015年9月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	7,923	—	—	—	—	—	—	—	—	7,923	487
RW20%以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20%超 100%以下	—	7,923	—	—	—	—	—	—	—	—	7,923	487
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	2,054	—	—	—	—	—	—	—	2,054	2,054

- (注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額
2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

- (2) 再証券化エクスポージャー
該当ありません。

2. 原資産に関する情報

(単位：百万円)

	2014年9月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	16,579	—	—	—	—	—	—	—	—	16,579
資産譲渡型証券化取引	—	16,579	—	—	—	—	—	—	—	—	16,579
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	132	—	—	—	—	—	—	—	—	132
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	2015年9月末										
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	14,071	—	—	—	—	—	—	—	—	14,071
資産譲渡型証券化取引	—	14,071	—	—	—	—	—	—	—	—	14,071
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	156	—	—	—	—	—	—	—	—	156
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー該当ありません。

■銀行が流動化プログラム(ABCP等)のスポンサーである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー

1. 保有する証券化エクスポージャーに関する情報

(1) 証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

	2014年9月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	—	—	—	2,523	—	—	37,719	—	5,022	45,264	1,146
RW20%以下	—	—	—	—	2,523	—	—	16,414	—	3,713	22,650	134
20%超 100%以下	—	—	—	—	—	—	—	21,113	—	1,309	22,422	992
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	191	—	—	191	19
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額

2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(単位:百万円)

	2015年9月末										計	
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	残高	所要自己 資本の額
保有する証券化エク スポージャーの額	—	—	—	—	41	—	—	34,150	—	4,775	38,966	1,074
RW20%以下	—	—	—	—	41	—	—	14,728	—	2,289	17,058	101
20%超 100%以下	—	—	—	—	—	—	—	19,375	—	2,486	21,861	968
100%超 1250%未満	—	—	—	—	—	—	—	45	—	—	45	4
1250%(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した 自己資本に相当する額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率告示第247条第1項の規定により1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーの額

2. 保有する証券化エクスポージャーの額は、全てオン・バランス取引に係るもの

(2) 再証券化エクスポージャー

該当ありません。

2. 原資産に関する情報

(単位：百万円)

2014年9月末											
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	—	—	—	3,746	—	—	46,367	—	6,216	56,330
資産譲渡型証券化取引	—	—	—	—	3,746	—	—	46,367	—	6,216	56,330
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	0	—	—	—	—	15	16
当期の損失額	—	—	—	—	166	—	—	131	—	59	356
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額(注)	—	—	—	—	—	—	—	89,652	—	2,674	92,327
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) SPCが、CPを発行して取引先の保有する手形債権、リース料債権、売掛債権やこれらを裏付として発行された信託受益権を購入するABCP方式や、銀行・投資家からの借入により購入資金を賄うABL方式により証券化を行ったものであります。

(単位：百万円)

2015年9月末											
	一般貸出 債権	住宅ローン 債権	アパート・ マンション ローン債権	クレジット カード 債権	リース料 債権	消費者 ローン 債権	オート ローン 債権	手形債権	診療報酬 債権	その他	計
原資産の額	—	—	—	—	1,138	—	—	45,037	—	5,334	51,510
資産譲渡型証券化取引	—	—	—	—	1,138	—	—	45,037	—	5,334	51,510
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8
当期の損失額	—	—	—	—	71	—	—	37	—	60	169
合成型証券化取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月以上延滞エクスポージャーの額又はデフォルトしたエクスポージャーの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期の損失額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当期に証券化を行ったエクスポージャーの額(注)	—	—	—	—	—	—	—	78,525	—	4,524	83,049
証券化取引に伴い、当期中に認識した売却損益の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早期償還条項付証券化エクスポージャーに関する事項											
実行済みの信用供与の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オリジネーターとして留保するエクスポージャーに対する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
投資家の持分に対して算出する所要自己資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化取引を目的として保有している資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) SPCが、CPを発行して取引先の保有する手形債権、リース料債権、売掛債権やこれらを裏付として発行された信託受益権を購入するABCP方式や、銀行・投資家からの借入により購入資金を賄うABL方式により証券化を行ったものであります。

■銀行が流動化プログラム(ABCP等)のスポンサーである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー該当ありません。

■銀行が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー
該当ありません。

■銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャー
該当ありません。

〈銀行勘定における出資・株式等エクスポージャー〉

■中間貸借対照表計上額

(単位：百万円)

	2014年9月末		2015年9月末	
	中間貸借対照表計上額	時価	中間貸借対照表計上額	時価
上場株式その他これに類する出資・株式等エクスポージャー	590,434	590,434	658,561	658,561
上記以外の出資・株式等エクスポージャー	108,230	108,230	116,046	116,046
計	698,665	698,665	774,607	774,607

■出資・株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2014年9月中間期	2015年9月中間期
売却益	23,737	12,776
売却損	△36	△15,152
償却	△126	△1,032
計	23,574	△3,408

(注) 中間損益計算書における株式関連損益について記載しております。

■中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2014年9月末	2015年9月末
評価損益	323,844	394,284

■中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

■株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

(単位：百万円)

	2014年9月末	2015年9月末
マーケット・ベース方式 (簡易手法)	5,182	58,005
マーケット・ベース方式 (内部モデル手法)	—	—
PD/LGD方式	316,623	313,587
他の金融機関等の資本調達手段のうち 普通株式等以外のものに係る エクスポージャー	45,010	55,010
特定項目のうち調整項目に算入されない 部分に係るエクスポージャー	5,727	5,734
その他	1	1
計	372,544	432,339

〈信用リスク・アセットのみなし計算〉

■信用リスク・アセットのみなし計算

(単位：百万円)

	2014年9月末	2015年9月末
信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額	29,124	126,222

〈銀行勘定における金利リスク〉

■アウトライヤー基準

(単位：億円)

	2014年9月末基準		2015年9月末基準	
	経済価値の減少額	自己資本に対する割合	経済価値の減少額	自己資本に対する割合
アウトライヤー基準算出結果	548	3.5%	240	1.7%

(注) 1. 経済価値の減少額は、保有期間1年、観測期間5年で計測される信頼区間99%の金利ショックによって計算しております。

2. 満期のない流動性預金の金利リスク計測に当たり、内部モデルを使用しております。

— Note —

りそな銀行 中間期ディスクロージャー誌 2015-2016

本誌は銀行法第21条等の法令に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

発行 2016年1月

株式会社りそな銀行 経営管理部

〒135-8581 東京都江東区木場1丁目5番65号 深川ギャザリアW2棟 電話 (03) 6704-2111

ホームページアドレス <http://www.resonabank.co.jp/>